



生産品目

いちご、さといも、モロヘイヤ、オクラ、落花生

生産するうえでのこだわり

移住するきっかけにもなった南阿蘇の素晴らしい景観。その景観を人や地球にやさしい農法で維持したいと思い有機農業を選びました。なるべく子ども達に食べてほしくて、初年度から里芋を村内の学校給食に提供。現在はBLOF(ブロー)理論※も取入れ、『ミネラル先行、窒素後追い』を合言葉にしながら、より栄養価の高い作物づくりを目指しています。

※BLOF理論:生態系調和型農業を目指す栽培技術



消費者の皆さんへ

おいしいいちごや野菜をお届けできるようがんばります♪

販売先・飲食店

関東や関西圏の生協やスーパー、村内の道の駅や小売り店など。
★販売情報についてはInstagramのストーリーをご覧ください。

自己紹介

みなみあそやまのいちごけんきゅうしょ

南阿蘇山ノ苺研究所

とよどめ

しずか

豊留 静香さん（南阿蘇村）

熊本の子農家育ち。

東京でアパレルやサービス業などに従事している最中、年齢によるカラダの変化をきっかけに食の大切さに気づきはじめる。

とあるきっかけでUターンし、数年後には山都町のいちご狩り農園へ就職。さらに“農”を深めるために、地域おこし協力隊をしながら有機JASのいちご農家で研修を受け、自ら有機栽培いちごを試験栽培し販売まで行う。2024年9月に新規就農を果たし初年度から有機JAS認証を取得。現在はJAS認証の審査員も兼務。



苦労している点

近年の異常気象が心配の種です。露地野菜に関しては干ばつ対策のために灌水設備を設置したり、雑草をいかして保水や遮光をしています。

また“ひとり農業”のため馬力がどうしても足りない場合もあり、そんな時はSNSを活用して『援農』を呼びかけさせていただいています。

HP・SNS

[ASHTAU OSHIZU](https://ashtau-oshizu.com/)



2025.8現在